

大人事業

台原森林公園を まると楽しもう

旭ヶ丘市民センター

【第3回 イベント～自然発見さんぽ（初夏編）～】

- 日時：令和7年5月31日（土）10：00～11：30
- 場所：旭ヶ丘市民センター、台原森林公園
- 参加者：企画員5名 講師1名（目黒先生）、イベント参加者9名
- 活動内容
 - ・開会、内容説明、準備運動
 - ・自然発見さんぽ（駅前広場～ホテルとメダカの里～駅前広場）
 - ・感想発表、閉会
 - ・企画員振り返り



企画員で出発前の最終確認



散策前の準備体操



雨は植物にとっては喜び！恵み！ 植物が一層生き生きとしていました。



ホタルの赤ちゃんは「カワナナ」という小さな巻貝を食べて大きくなります。でも、そのカワナナも少なくなっているそうです。カワナナが食べるキャベツを水路に設置して育てているそうです。講師の目黒先生のお話によると、池にはコイが入ってきて、カワナナを食べてしまったり、池を荒らしたりして困っているとのことでした。

このコイはもともとこの場所にいたコイではなく、外来種のように生態系のバランスが崩れていることに気付きました。台原森林公園という貴重な自然環境を守るために、私たち一人ひとりが自然のつながりに目を向け、小さな生き物たちの命に配慮した行動を考えていくことの大切さを実感しました。



今回の散策会では、企画員のみなさんのあたたかい雰囲気のおかげで、参加者も安心して楽しく過ごすことができました。当日はあいにくの雨でしたが、雨の中での散策ならではのしっとりとした自然の美しさを感じることができ、「雨の日もいいね」という声も聞かれました。

次回は秋の散策会を予定しています。よりじっくり自然を感じられたり、季節毎の違いを味わえたりできるイベントを考えています。皆様のご参加をお待ちしております。